

長期経営計画（2016～2025） 「2025年ビジョン」

2015年04月20日

株式会社 安川電機

2016/05/20 改版1: P.2 数値を2015年度実績へ変更

安川電機の2025年ビジョン

『コア技術の進化とオープンイノベーションの融合により、社会に対し新たな価値を提供する』

目指す姿

Respect Life

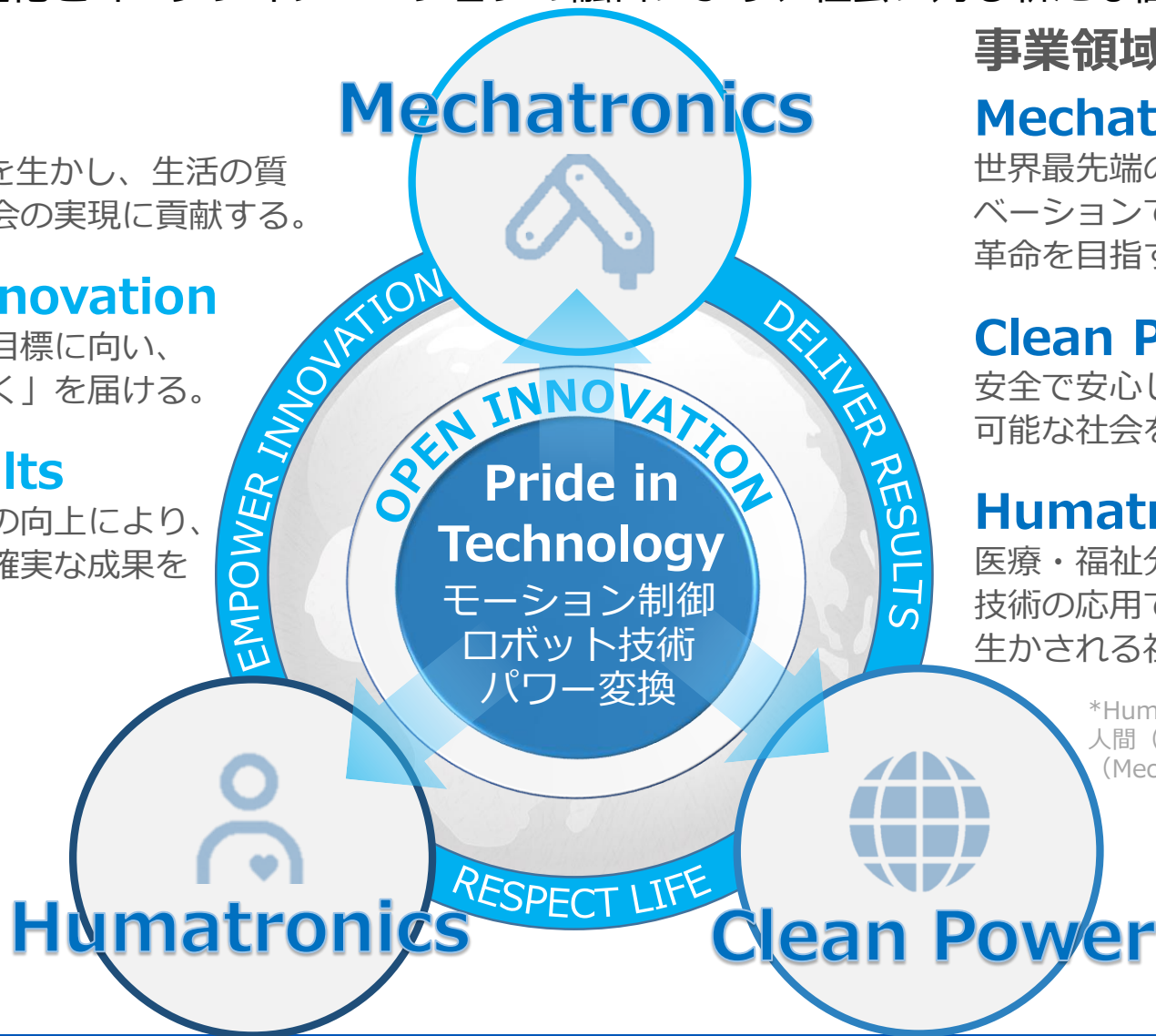
100年の技術の蓄積を生かし、生活の質向上と持続可能な社会の実現に貢献する。

Empower Innovation

新しい技術・領域・目標に向い、人々の心に「わくわく」を届ける。

Deliver Results

継続的な事業遂行力の向上により、ステークホルダーに確実な成果を届ける。



事業領域

Mechatronics

世界最先端の技術+オープンイノベーションで、新たな産業自動化革命を目指す。

Clean Power

安全で安心して暮らせる持続可能な社会を目指す。

Humatronics*

医療・福祉分野へのメカトロニクス技術の応用で、人間の能力がより生かされる社会を目指す。

*Humatronics/ヒューマトロニクス:
人間 (Human) とメカトロニクス
(Mechatronics) を掛け合わせた造語

2025年の数値目標

	2015年実績	2025年目標
売上高	4,113億円	2倍以上 (2015年比)
*新規事業領域売上高率	5%	2倍以上 (2015年比)
* 新規事業領域：Clean Power 事業領域、Humatronics 事業領域		
営業利益（利益率）	367億円 (8.9%)	1,000億円以上 (10%以上)
配当性向	23.6%	*30%+α
* 2020年までに段階的に30%まで引き上げる		
ROE	12.8%	13%以上

安川電機を取り巻く環境

世界的な人口の変化

先進国の少子高齢化と新興国の人口増加が市場に大きな影響を与える

- ・ 新興国の物価・賃金の上昇
- ・ 寿命延長による生活の質向上への意識が高まる

エネルギー消費の拡大

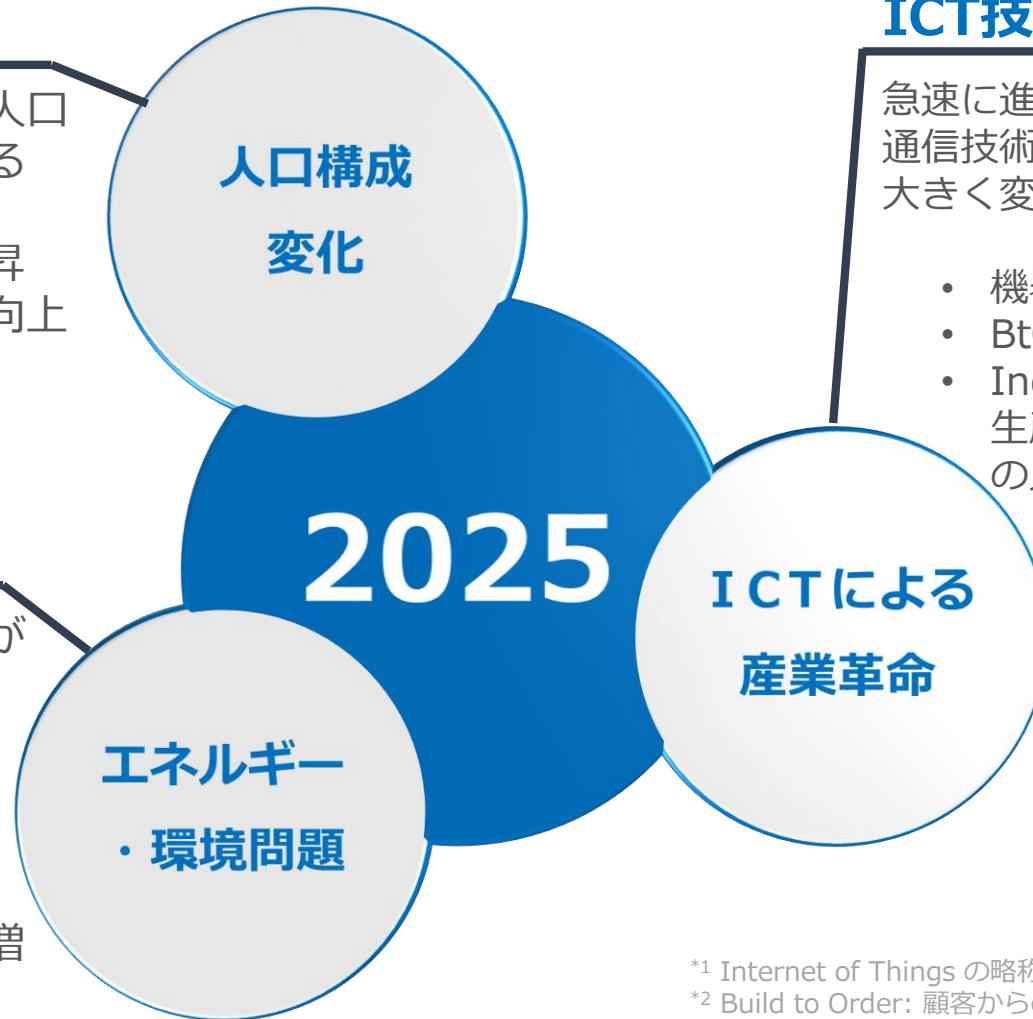
人口増に伴いエネルギー消費量が増大し、環境問題意識が高まる

- ・ 環境保護や燃料削減のニーズ拡大
- ・ 分散電力の利用拡大
- ・ 再生可能エネルギー供給増

ICT技術の進化

急速に進化している情報通信技術により生産現場が大きく変化する

- ・ 機器のIoT*¹対応
- ・ BtO*²対応拡大
- ・ Industrie4.0*³による生産・オペレーションのスマート化



*¹ Internet of Things の略称

*² Build to Order: 顧客からの注文に応じて組み立てる方式

*³ ドイツ政府が提唱した第四次産業革命のコンセプト

2025年ビジョンの主な戦略

Mechatronics



既存コア事業で世界一を追求

- 産業用ロボットとモーションコントロール分野におけるグローバルシェアNo.1を追求する

Mechatronics



産業自動化革命の実現

- 世界最先端のメカトロニクス技術とICT技術の融合に取り組み、新しい自動化のソリューションを提供する

Clean Power



創・蓄・活エネ事業の確立

- 再生可能エネルギー事業のグローバル展開を進めるとともに、電気駆動の新市場を開拓し、コア事業として確立する

Humatronics



医療・福祉市場への挑戦

- 人間の能力を補強し、生活の質が向上する機器を開発し、市場を創造する

戦略① 既存コア事業で世界一を追求

既存コア事業で下記の製品戦略により、グローバルシェアNo.1を追求する。

サーボ



統合コントローラ
アクチュエータ市場開拓
複合コンポーネント

ロボット



製造業向け人協働ロボット
アプリケーション融合強化
組立用途向けロボット

インバータ



省エネ・蓄エネソリューション
高調波レス・回生用途の市場創出
ボリュームゾーン攻略

Internet of Things (IoT) 対応

戦略② 産業自動化革命の実現

自動化が難しい工程への挑戦

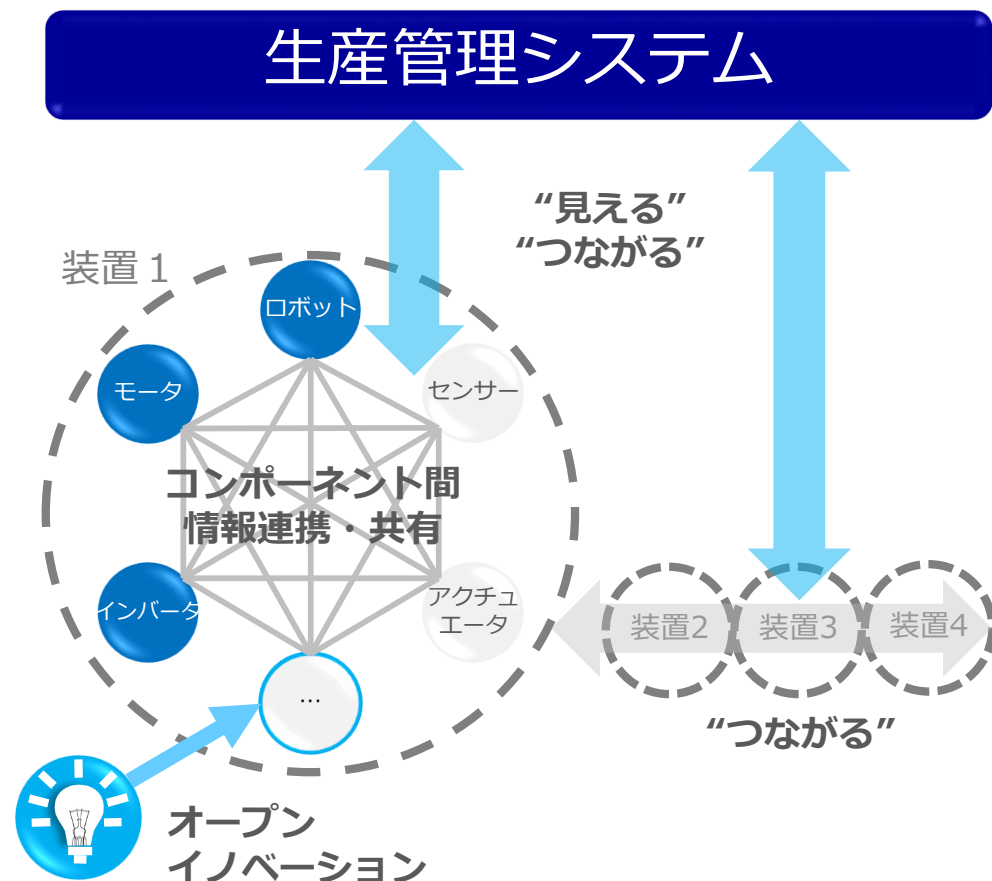
電子機器・食品製造等における組立を中心とした多くの工程で自動化が進んでいない。世界最先端の技術開発により、新しいソリューションを提供する。

“見える” “つながる” 装置の実現

自動化コンポーネントとICT技術等を融合させ、相互に“見える”“つながる”装置の開発を進める。

オープンイノベーションの拡大

オープンイノベーションにより、当社技術とその周辺技術を組み合わせ、高機能でありながらより使い易い装置・モジュールにより、市場の開拓を図る。



戦略③ 創・蓄・活エネ事業の確立

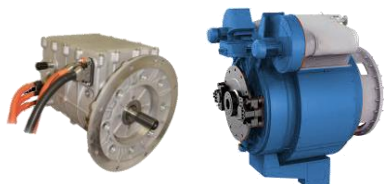
クリーンパワーを世界へ！

太陽光発電と大型風力発電事業への取り組みを強化し、グローバル展開を加速する。



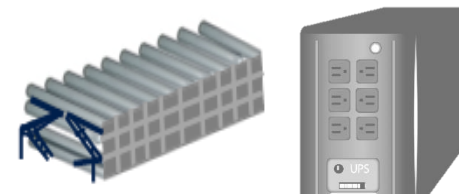
電気駆動の新市場へ！

オープンイノベーションで電動モビリティ等、化石燃料を代替する電気駆動の新市場を開拓する。



電力最適活用を可能に！

再生可能エネルギーの導入増加に伴い、需要家のピークカットの動きやグリッドの安定化など蓄エネのニーズが高まる。
当社は蓄電システムに取り組み、再生可能エネルギーの更なる普及を目指す。



戦略④ 医療・福祉市場への挑戦

産業自動化市場で培ったロボット技術を医療・福祉分野に応用し、アライアンスや産学官連携等オープンイノベーションを活用し、先進的な医療・福祉機器市場を創造する。当社のメカトロニクス技術と人間の能力を融合し、生活の質を高める機器をヒューマトロニクス機器という。

現在の取り組み

医療・福祉機器用
アクチュエータ品揃え拡大

今後の展開



2025年に目指す安川電機の組織・人材

本社機能

- ・ 会社統括機能として“引っ張る力”
- ・ 機能を軸にグループ横断的に“束ねる力”
- ・ 専門知識をベースに“支える力”

地域統括機能

- ・ 開発力・生産力・販売力の強化
- ・ 地域統一の人材マネジメント
- ・ 経営の現地化完了

ダイバーシティ推進

- ・ 多様な人材の強みを活かせる風土作り

グローバル人材力

- ・ 次世代リーダ育成
- ・ グローバル人材選抜・育成
- ・ クロスファンクション、
クロスボーダープロジェクト拡充



魅力的な労働環境

- ・ 働き方の変革によるワークライフ
バランスの実現
- ・ チャレンジし、やり遂げる事の
奨励・評価
- ・ 熱意ある若手社員の積極的な
登用・抜擢

地域と共生する活動の推進

グローバル拠点毎に、地元大学との戦略的連携を強化する等、それぞれ特色ある活動により地域と共生する。また、本社のある北九州では以下の活動を推進し、北九州から全国・世界へ発信する。

ロボット村から世界へ！

ロボット村を核としてロボット革命を推進

- ロボット村を実証実験フィールドとして提供する
- 大学・高専と研究・開発・教育分野で連携する
- 安川電機みらい館でロボット体験、ワークショップを開催する
 - ⇒ロボットをキーワードに産学官民が集積し、新産業・新技術・雇用の創出、人材育成などの成果を産み出す仕掛けを行い、イノベーション創出拠点を目指す

障がい者が活躍出来る環境作り

障がい者雇用施設との協業により地域社会へ貢献

- 障がい者が障がい者用機器（ReWalkなど）を開発・生産し、使用しながら働ける場を提供する



本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。